

活動報告（10月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：JAとぴあ浜松のキャベツ産地で品種選定試験の中間調査を行いました

日時：令和6年10月7日（月）

場所：静岡県浜松市中央区



令和6年10月7日に、JAとぴあ浜松管内のキャベツ生産者ほ場で品種選定試験の中間調査を行いました。

JAとぴあ浜松、種苗メーカー、静岡県経済連、県農業戦略課、農芸振興課、農林技術研究所、西部農林事務所の職員の合計18人が参加しました。

今年は、管内の加工業務用キャベツ栽培において、11月上中旬収穫で収量性が高く、大玉で重量が乗る優良品種を選定することを目的とした試験を静岡県品種選定協議会の協力のもと行っています。

協議会を通じて、試験用13品種+産地標準1品種の合計14品種の種子の提供が種苗メーカーからありました。

今回の調査では出荷物であるキャベツの玉の大きさを左右する外葉の大きさに関する指標や、結球の有無などを調べました。

今後、収穫調査と公開審査を11月中旬に行い、産地に適する品種を選定する予定です。

今後も関係機関一丸となって、キャベツ産地を支援していきます。